



十二町っ子だより

学校だより 第1号

令和7年4月15日

氷見市立十二町小学校

なりたい自分

新入生9名を迎え、全校児童58名で令和7年度が始まりました。月曜日の朝活動である「ランランタイム」では、どの学年も軽快にグラウンドを走りました。教室からは、校歌の練習をする1年生の声が聞こえてきます。庭のチューリップも応援しているようです。

本年度の十二町小学校のキーワードは、「なりたい自分」としました。予測困難な時代をたくましく生きていくには、「なりたい自分」を思い描き、自ら考え、行動することが大切です。「こんな〇年生になりたい」という思いを胸に、自分のよさや可能性、課題に気付き、目標をもって主体的に自分を高めることができるように、一人一人に寄り添った支援に努めます。また、互いの成長を温かく認め合い、高め合う集団づくりにも尽力します。

これからも、子供、保護者、地域の皆様から信頼される学校づくりに教職員が一丸となって励んでいきます。今後ともご理解・ご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



学校教育目標・本年度の重点目標、アクションプランは以下のとおりです。学校全体で精一杯取り組んでいきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

学校教育目標

豊かな心をもち、学び続ける子供の育成

進んで学び、表現する子供

温かく、思いやる子供

たくましく生きる子供

本年度の重点目標

なりたい自分を目指し、自ら考え、行動する子供の育成

アクションプラン1	アクションプラン2
友達の話をよく聞き、自分の思いや考えを分かりやすく話すことができる 80%以上	相手の気持ちを考えた言葉がけや行動をすることができる 80%以上
〈方策1〉 友達の話を聞く態度を向上できるよう、「聞き方表」を教室に掲示し、対話タイムや授業でのペア・グループ学習で活用するとともに自分の態度を振り返る機会を確保する。 〈方策2〉 思いや考えを分かりやすく伝えられるよう、発達段階に応じた「話型」を掲示し、その言葉を生かして話す機会を確保する。	〈方策1〉 子供たちが主体となって挨拶運動を進めることができるよう、代表委員会が方策を考え、継続して実践、振り返りを行う。 〈方策2〉 相手の気持ちを考えた行動や言葉遣いができるよう、互いを認め合う機会を日常的に設定する。「ほかほかの木」の掲示や「ほかほか週間」の設定によって実践意欲を高める。

入学式（４月９日）

入学式では、９名の１年生に大切にしてほしい３つのことを伝えました。「いのち」「挨拶」「自分をつくること」です。なりたい自分を目指し、いのちを大切に輝かせるとともに、挨拶を交わし合い人々と交流を深めることで、学校生活は充実し、登校することが楽しみになります。６年生の海棠さんが、１年に向けて温かい歓迎の言葉を贈りました。その言葉からは、１年生を応援する気持ちが伝わってきました。全校児童が支え合い、笑顔で毎日を過ごしなが、よさを発揮していくことを願っています。



少年交通指導員委嘱書交付式（４月１１日）



交通安全協会十二町支部長の浦山さんより少年交通指導員となった川嶋さん、谷さんへ委嘱書が手渡されました。２名は誓いの言葉を立派に宣言し、交通指導員としての自覚を深めていました。藤奈美交番の方から交通安全についてのお話も聞きました。



全校児童が危険を予測し、より一層安全に行動するように指導していきます。ご家庭でも、登校前の声かけ等、ご協力をお願いします。
